

会員リレーエッセイ

SEAN会員のみなさんをお願いしているリレーエッセイです。
最近の関心ごと、SEANとのかかわりへの思いなどなど。
会員間のつながりになればと願っています。

NPO法人SEAN 賛助会員
田村 和子

沖縄と私、今考えていること！

沖縄では主に、辺野古のキャンプ・シュワブ工事前での座り込みと、琉球セメント

1995年。娘の9歳の誕生日に起きた3名の米兵による許しがたい少女暴行事件。少女と同じ年頃の娘を持つ親として、悲しくて苦しくてやりきれない思いでした。翌年「沖縄平和ツアー」に参加し、沖縄について多くのことを学びました。その後子育てや仕事に追われ、次に沖縄を訪れたのが2014年。その翌年退職し、沖縄通いを始めました。そこで見た光景は衝撃的でした。高江のオスプレイ離着陸帯の建設工事と辺野古の新基地建設工事。ともに力づくで強行されようとしていた時でした。

青い海とサンゴ礁のリーフに砕ける白い波。シーサーのある家並みやエイサーの太鼓の音や三線の音色。沖縄は素晴らしい観光地であり、多くの人の憧れの地の一つだと思っています。一方で、沖縄にはもう一つの顔もあります。沖縄戦の戦跡、ガマ、国道沿いのフェンスの中の広大な米軍基地……。現在も国土面積の約0.6%しかない沖縄県内に全国の約70.3%の在日米軍基地が集中しています。米軍関係者による事件、事故も後を絶ちません。

今、政府がやるべきことは軍拡ではないと思います。九条を保持し平和主義の国として、絶対にアメリカと中国の戦争に加担してはいけません。両国の対立を緩和し、これまで以上に平和友好の外交努力を尽くすことが必要だと思っています。私たち一人

抗議行動では、年配の方から直接沖縄戦の体験を聞く機会も多いです。「沖縄を再び戦場にしてはならない」と心から思います。今、軍事費が大幅に増やされ「台湾有事は日本有事」と煽って琉球列島の島々に次々とミサイル基地が造られています。沖縄の方は「また沖縄が戦場にされるのか」「また犠牲にされるのか」と大変心配されています。

安和棧橋の牛歩の闘いに参加しています。安和棧橋は本来セメント積出しや原料搬入のための棧橋ですが、法令に反して、辺野古埋め立てに使う土砂を運搬船に積み込むために使われています。棧橋に土砂を運び込むダンプカーの動きを少しでも遅らせるため出入口の前をできるだけゆっくり歩く、非暴力の抗議行動に毎日参加しています。



安和棧橋の出口で牛歩する市民



安和棧橋に接岸する土砂運搬船

ひとりも「戦争だけは絶対にだめ！」と声に出して訴えることが今ほど問われています。自分たちの子や孫たちが安心して平和に暮らせる社会をみんなで作っていきましょう。